

特集

男性育児の現状と課題

佐藤裕紀子
中里 英樹

男性育児の現状と課題

神戸女学院大学 心理学部 教授

ジェンダーインスティテュート ディレクター

矢 野 円 郁

2024年度、ジェンダーインスティテュートは、「男性育児」をテーマに、講演会（6月7日）と定例研究会（6月8日）を連日開催しました。講演会では、実際に育児休業（以下、育休）を取得した経験をもつ男性として、毎日放送アナウンサー（本学特別客員教授）の西靖氏にご登壇いただき、そのご経験を伺いながら、男性の育休取得を促進するために必要なことを対談しました。翌日の定例研究会では、甲南大学文学部教授中里英樹氏、茨城大学教育学部教授佐藤裕紀子氏をお迎えし、ご研究の成果をご報告いただきながら、男性育児の促進について議論し、参加者の方々との質疑応答も活発に行われました。いずれの日も、学内外の研究者や学生だけでなく、一般の方も、大勢ご参加くださいました。育児にあたって、男性も女性と同様にかかわることが、女性だけでなく、男性自身にとっても重要なことであり、今、日本社会で求められている最重要事項の一つであることが再認識されました。

本特集は、中里氏と佐藤氏に、定例研究会でのご報告内容を原稿化していただいたものです。中里氏には、日本の男性の育児休業の取得の現状や課題について、国際比較も踏まえつつ、ご報告いただきました。佐藤氏には、家庭科教育の観点から、男性の育児を促進するための学校教育のカリキュラムや教材の研究についてご報告いただきました。社会学と教育学という異なるアプローチの研究でありながら、非常に関連の強い内容となりました。ぜひ、ご味讀ください。

